

1. 件名：福島第一原子力発電所3号機PCV取水設備設置工事に関わる滞留ガスパージ作業の完了に係る面談

2. 日時：令和4年2月4日（金）13：30～14：30

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、横山係長、新井安全審査官、小西係長、石井係長、塩唐松係員

澁谷企画調査官、星主任研究調査官、高松専門職（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

木村副所長、木村原子力運転検査官、廣岡防災専門官、前田原子力運転検査官、黒川原子力運転検査官、坂本原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー（テレビ会議システムによる出席）

プロジェクトマネジメント室 担当5名

福島第一原子力発電所 担当3名

5. 要旨：

- 東京電力ホールディングス株式会社から、3号機PCV取水設備設置工事に関わる滞留ガスパージ作業について、以下の項目に対する説明を受けた。

➤ ガスパージ作業について

- ✓ 滞留ガスの測定方法
- ✓ 今後予定しているPCV水位低下作業においてRHR（B）系へ酸素混入の影響はないと考えていること
- ✓ 3号機RHR熱交換器以外のCUW熱交換器等においても内部に水素がないとは断定できないこと
- ✓ パージ作業時に採取した滞留ガスはガスクロマトグラフでの分析を行う予定であること

原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を伝えた。

- PCV水位低下以外の作業等により、RHR（B）系にあると想定される水素に対して影響を及ぼすと考えられる内容をまとめること。また、1, 2号機においても水素の滞留が想定される場所や部位について整理を行うこと。
- 3号機RHR熱交換器内に水素が蓄積したメカニズムを検討し、熱交換器や弁等のエレベーションも含めて詳しく説明を行うこと。

6. その他

資料：3号機PCV取水設備設置工事に関わる滞留ガスパージ作業の完了につ

